

前橋市立図書館だより

令和4年(2022年)1月 第380号

前橋市立図書館 高等学校連携事業



前女の
みなさんと

「前女生しおりコレクション」2022.1.30(日)まで

前橋女子高校の生徒がデザインしたしおりを本館に展示しています

“ちょっと見に来てくれない”

ミニ展示「群馬の方言」

長期インターンシップで共愛学園前橋国際大学の学生が図書館業務に携わっています。

学生が自ら企画・選書したミニ展示を本館2階で開催中。テーマは「群馬の方言」です。「ケール(帰る)」「イガネー(行かない)」「ナツカラ(ずいぶん)」…。親しみのある言葉を文字で読むと新鮮に感じます。ぜひご覧ください。



チャンプ本 発表!

■わたしの1冊プレゼン合戦■

約2か月にわたり開催された“わたしの1冊プレゼン合戦”。投票期間を終え、いちばん票を集めた本を“チャンプ本”として発表します。

今回紹介されたのは下表の4冊です。チャンプ本に輝いたのはどの本!?

タイトル	著者	ジャンル	プレゼンター (ペンネーム)
死ぬまでに行きたい海	岸本佐知子	エッセイ	Siro
マッターホルン最前線 ヘルンリ小屋の日々と山岳レスキュー	クルト・ラウバー	地理	Akou
旅猫リポート	有川浩	小説	パープル
世界一美味しい 手抜きご飯	はらぺこグリスリー	料理	ただのジジイ

次の合戦は1月5日から開始。新たなプレゼンターがお気に入りの1冊を紹介します。プレゼンを読んで、いちばん読みたくなった本に投票してみませんか。

また、プレゼンターとして参加していただける方を募集しています。本のジャンルは問いません。大好きな1冊を紹介してください。詳しくは当館ホームページをご覧ください。



次はどんな本が紹介されるのでしょうか!?

停本所から分館へ

図書館永明分館新設に伴い、永明公民館停本所が閉鎖します。停本所は令和4年3月31日までご利用いただけます。

図書館永明分館は、5月16日の開館に向け、着々と工事が進んでいます。



新築工事中の永明分館

■司書のおすすめ■

各分館スタッフがおすすめの1冊を紹介
清里分館スタッフ

『雲を紡ぐ』

伊吹 有喜著／文藝春秋

東京の女子高に通う美緒は不本意なあだ名をつけられ、からかわれたことがきっかけで学校へ行けなくなる。

ある日、唯一の心の拠り所だった赤いショールを母に捨てられたと思い、家を飛び出してしまふ。向かった先は、父方の祖父がいる盛岡。

東京で追い詰められ、閉じこもっていた美緒だが、盛岡の自然に囲まれ、「せがなくていい」と言って寄り添ってくれる祖父のそばで、徐々に心を開いていく。そして、祖父の工房でホームスパンに興味を持ち、自分の手でショールを作ろうと動き始めるのだったが…。

この小説は、傷ついた少女の自立の物語でもあり、少女と両親の葛藤、父と祖父との確執、夫婦のすれ違いなど、家族三代の物語でもあります。主人公を取り巻く大人たちもそれぞれの問題を抱えており、その苦悩にも共感できるため、大人の方にも読み応えのある作品となっています。

「切れてもつながる。切れた糸と新しい糸を握手させて撚りをかけるんだ」


この言葉のように途切れかかった家族の絆は再びつながるのでしょうか？胸を打つ場面や言葉がたくさん出てくる感動作です。ぜひ読んでみてください。


図書館の休館日(祝日の場合は開館、翌日に休館)	
前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・南橋・大胡・富士見・総合教育プラザ分館	月曜
城南・芳賀・東・清里・宮城・粕川分館	木曜
前橋子ども図書館	第4水曜

前橋子ども図書館
☎027-230-8833

イベントのお知らせ

- ことばを育む 1歳からのおはなし会**
1月11日(火)午後1時30分～2時
- 共愛学園前橋国際大学×短期大学部 学生による英語読み聞かせ会**
「英語と絵本に触れてみよう♪」
1月16日(日)、30日(日)午前11時～12時
- 赤ちゃん絵本のおはなし会**
1月21日(金)午後1時30分～2時30分
- はじめて絵本のおはなし会**
1月23日(日)午前11時～12時
- たこさんのおはなしや**
木曜(1月6日を除く)、午前11時～11時30分
- ブックスタート絵本の引き換え&おはなし会**
土曜(1月1日、8日を除く)、午後1時～3時
- おはなしの会**
土曜(1月8日、29日を除く)
午前11時～11時30分





■分館蔵書整理のお知らせ■
1月17日(月)～1月20日(木)は、各分館が蔵書整理のため休館です。
本館、子ども図書館は通常どおりです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用制限を行っております。詳しくはお問い合わせください。

新着
図書

『わかりやすい統計学』

データサイエンス基礎
松原望、森本栄一著／丸善出版

統計学・データサイエンスの基礎をわかりやすく解説。データを読むことから始め、生の統計データと実例を豊富に取り上げながら、具体的なイメージが描けるように説明します。



『病んだ言葉 癒やす言葉 生きる言葉』

阿部公彦著／青土社

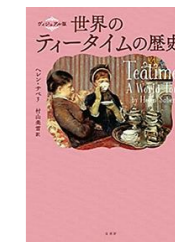
言葉を読むとは何か。言葉を使うとは何か。言葉を学ぶとは何か。そして、言葉を守るとは何か。文学作品から言語教育まで、英文学教授が『言葉の生理』について綴った31編を収録。



『世界のティータイムの歴史 ヴィジュアル版』

ヘレン・サベリ著、村山美雪訳／原書房

暮らしに欠かせないティータイム。ところ変わればティータイムも変わり…。世界の地域ごとに飲まれている種類の茶器、スイーツ、喫茶の歴史を豊富な図版でたどる。茶飲料やサンドイッチ、焼き菓子等のレシピも紹介。



『おしょうがつパーティー めでたいめでたい』

山田花菜絵、すとうあさえ文、川島雅子レシピ提供

／ほるぷ出版

お料理するのが大好きなママさんが、あつくん、かよちゃんとお正月パーティーをすることに。「めでたいハンバーグ」「はつゆめちゃきん」など、おいしいお正月ご飯を紹介する絵本。



編集よもやま話

「図書館の自由に関する宣言」を知っていますか？
四つの項目で構成されていて、映画『図書館戦争』有川浩著でも出てきたので、ご存じの方もいるかと思えます。日本にある図書館は基本的にはこの宣言の趣旨を守って運営されています。ここでは明記しませんが、気になる方はどうぞ、図書館職員にお尋ねください。
今回は、「図書館の自由に関する宣言」とともに図書館の基本となる「ランガタンの図書館学の五法則」を紹介します。
ランガタンはコロン分類法という図書の分類の方法を作り、インドの図書館学の父と言われた人です。
原文は英語ですが、日本語の訳と併せて紹介します。

The Five Laws of Library Science
ランガタンの図書館学の5法則(1931年)
第1法則 Books are for use.
(図書は利用するためのものである。)
第2法則 Every reader, his or her book.
(いずれの人にもすべて、その人の本を。)
第3法則 Every book, its reader.
(いずれの本にもすべて、その読者を。)
第4法則 Save the time of the reader.
(読者の時間を節約せよ。)
第5法則 A library is a growing organism.
(図書館は成長する有機体である。)

こういった考えのもとに私たちは日々、みなさんが本を見つけやすいように整え、利用しやすい図書館づくりに取り組んでいます。
この五法則の中で私が一番気になるのは、第五法則の「図書館は成長する有機体である。」です。最初読んだ時は、どういうことなのか理解できませんでした。「図書館という施設が有機体？どういうことか？」
しかし、建物としての「図書館」ではなく、図書館の持つ機能やサービス、働きなどのソフト面で考えればそれも納得できる表現です。
図書館は人々が作り出した様々な資料や情報をそろえ、みなさんの学びに活用していただくとともに、未来の図書館ユーザーにもそれを提供し、よりよい生活のために役立ててもらおうという使命があります。
そのためには図書館は資料の収集を継続し、図書館職員は利用者の要望に応えられるようにスキルを磨く必要があります。
そしてみなさんはご自分の知識を広げていく。そう考えると、図書館は成長し続ける有機体であると感じるのです。
(図書館長)

